



【事業所概要】

昭和46年創業。住宅からビル、土木工事、公共工事も行っています。

従業員は18名(事務が3名。営業が2名。他の社員は現場勤務)。

【雇用人数】

精神障害者1名。障害者の雇用は初めてです。

【精神障害者の作業内容】

肩書きは現場代理人ですが、建物の竣工から完成までを現場責任者として仕切っています。

複数の現場のかけ持ちはせずに1ヶ所のみを担当し、担当現場はほとんど彼に任せてあります。

【雇用状況】

勤務日は、月曜～土曜。基本的に午前8時から午後6時の勤務時間ですが、現場が遠いときは遅刻を認めています。

2週間に1回の通院日は休みにしています。

また、社長は「体調がすぐれないときは、連絡さえすれば2日でも3日でも休んでかまわない」と言っています。また、「現場には言葉や態度が荒い人がいるので、あなたがこの現場で一番偉い人だから自信をもって対応しろ、なにかあったら、社長にすぐ連絡しろ」と話しています。

【採用】

公共職業安定所から、精神障害者を雇用してみないかと紹介されました。

まじめな人で過去に現場経験もあり、1級建築施工管理と1級土木施工の資格をもっていました(建設業界は資格が大切なので)。

建設業で様々な人を雇用してきたので、まじめに仕事をしてくれる人であれば、障害者でもかまわないと思ひ、即、採用しました。

他の従業員には、病気のために薬を取りに行ったりするので、あまり無理はできないと話しています。

【勤務状況】

現場の報告をきちんと会社に行っていますし、特に問題はありません。

本人が連絡してくれば疲れたときや病院に行くときは休むように言っていますが、実際に働きぶりをみると頑張りすぎる傾向があって、逆にストップをかけることがあるそうです。

【日常生活】

通勤は自宅から直接現場に通っています。

2週間に1回の通院時にデイケアにも参加していて、そこでのカラオケや他のプログラムをやるのが気分転換になっています。

また、病院のケースワーカーに相談に乗ってもらっています。

